



## ハトによる感染症に要注意！

今年は暖かい日が多く、比較的過ごしやすい日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今回は私たちの生活に身近な鳥、ハトによる感染症についてお話します。ハトのもつ人獣共通感染症には、鳥インフルエンザ、クリプトコッカス症、オウム病、トキソプラズマ、ヒストプラズマなどがあります。クリプトコッカス症、オウム病は、乾燥して粉状に飛散したハトの糞を吸い込むことにより発症する恐れがあります。特にクリプトコッカス菌は有名であり、ハトの糞で増殖するため、ハトそのものではなく、家のベランダや工場の敷地内にある糞の清掃にも注意が必要です。また、トキソプラズマはハトの感染率が高いと言われており、ハトが身近にいる環

境そのものに問題があり、妊婦の方が感染すると、母子感染しこどもに障害が残る事例があるとされます（野良猫にも要注意です）。

ハトとの接触をなくすためには、まずはハトが敷地内に居座らないようにすることが大切です。ハトは居心地のいい場所に巣を作るので、居心地の悪い環境を作ることが良い方法です。防鳥ネットで入って来にくい環境を作ったり、ハトが止まりやすい部分には防鳥棘を取り付け、そこに止まることができないようにしたりするのが良いです。

このような対策は、冬のうちにを行うと、春の繁殖シーズンに間に合います。ハトは留鳥（渡り鳥とは違い、季節によって移動しない鳥）なので冬の寒い時期は暖かい場所に隠れて



図1：防鳥ネット



図2：防鳥棘

生活をしています。また、ハトは警戒心が強く、安全だと認識した場所に長く留まり、帰巢本能が強いので数十キロ離れた場所からも正確に帰巢することができる習性を持ちます。ハトに気に入られる前の早めの対策が重要です。

万が一ハトの巣を見つけたら、卵を産む前であれば除去することが出来ませんが、卵やヒナがいる場合は、鳥獣保護管理法により駆除が難しくなります。また、防鳥対策は高所での危険な作業になることが多いので、専門家に依頼するようにしましょう。

当社では、様々な防鳥対策も承っておりますので、ハトやその他の鳥でお困りの際は、お気軽にご相談ください。



### 今月の豆知識

### いつ寝ているの？渡り鳥の謎

冬になると寒い地域などから飛んでくる渡り鳥。彼らは過ごすのが厳しい寒さになると、暖かい地域へと命がけで移動を行います。渡り鳥の中には数千km～数万kmもの距離をほとんど休みなく飛び続けて大移動する鳥たちも存在します。そんな鳥たちはいったいいつ眠っているのでしょうか？

野生動物の一部には「半球睡眠」と呼ばれる睡眠方法をとる種類のものがあります。その方法とは片方の目をつむることで脳の半分を休ませ、次につむる目を交代することでもう半分の脳を休ませるといったものです。こういった睡眠方法は、群れの外側で常に周囲の安全を確認しながら眠る習性がある鳥類や、溺れないために泳ぎ続けている鯨類などに見られます。

驚くことに渡り鳥は空を飛び続けている間も、この「半球睡眠」を行っているのだそうです。そうすることで長い時間休みなく移動することが可能になり、陸地で天敵に襲われるリスクを減らし、目的地に到着できる個体を増やしていると考えられています。また数週間、数か月にも及ぶ長期間の移動を行う種類の鳥の中には「半球睡眠」の合間に最長で数分間、完全に熟睡をしながら空を飛べるものもいるそうです。

厳しい寒さを乗り越えるために進化を遂げた鳥たち。私たち人間も寒くて眠い通勤時間、この「半球睡眠」さえあれば、楽しく安全に職場にたどり着けそうですね。しかし、人間には有効な「半球睡眠」は確認されていないそうです。皆さんは通勤の際はお気を付けください。